中小企業あきた

1 平成26年度補正
「ものづくり・商業・サービス革新補助金」の公募を開始！ …… 1
2 本会支援事業より
～課題解決に取り組む組合・企業を支援します～ …… 2
○組合相談コーナー …… 3
○景況レポート１月分 …… 4
○話題の広場
中央会事業より …… 6
アラカルト …… 8
支援団体活動レポート …… 9
インフォメーション …… 10
組合ティールーム …… 10

3
MARCH.2015

TOPICS 1 平成26年度補正「ものづくり・商業・サービス革新補助金」の公募を開始！

経済産業省では、国内外のニーズに対応したサービスやものづくりの新事業を創出するため、中小企業者や小規模事業者が活用できる**平成26年度補正「ものづくり・商業・サービス革新補助金」**を実施しています。

これまで本県からは、平成24年度補正「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」として101件、平成25年度補正「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業」として127件（ものづくり105件、革新的サービス22件）が採択され、それぞれ本補助金を活用して試作品や役務等の開発、設備投資を行い、課題解決に取り組んでいます。

□採択事例の紹介

設備投資及び多能工育成による受注対応力向上と小ロット製品の生産拡大
（秋田ファイブワン工業株式会社）

■課題・取組内容（ものづくり技術）

当社は、紳士服・婦人服の上物を中心に、日本を代表する高品質ブランド品を製造しており、本補助金を活用して、小ロットに対応した高付加価値製品の生産体制を整えるための設備投資を行いました。

【自動裁断機（CAM）】

■採択企業の声

最新設備の導入により、生産工程の前段取りが合理化され、高級品の小ロット受注に対応した生産体制を整えることが出来ました。また、多品種生産への対応により、従業員の技術力も向上しています。今後も生産工程の合理化と技術向上を図り、受注や雇用に繋げていきます。（平成25年度実施）

プリンターの導入による加工の内製化及びコスト削減と新分野進出
（スズキテント有限会社）

■課題・取組内容（革新的サービス）

当社は、防水シートやカーテン、ステージ幕、ファサード等の販売施工を行っていますが、加工の一部を外注していたため、本補助金を活用して、内製化と新たな事業展開を図るための設備投資を行いました。

【全自動ハトメ打機】

■採択企業の声

プリンター等様々な加工技術の導入により、短納期化と大幅なコスト削減を実現できました。今後は、オリジナル壁紙等の高付加価値製品や新サービスの提供により、販路拡大に取り組みます。（平成26年度実施）

【インクジェットプリンター】

□公募について

現在、1次公募分について募集しています。公募要領等はホームページからダウンロードできます。

ものづくり補助金ホームページ(http://www.chuokai-akita.or.jp/26monozukuri/index.html)

※必ず郵送により本会(秋田県地域事務局)あてに送付して下さい。

※過去に採択を受けた企業は、新規の事業計画について申請が可能です。

公募締切：平成27年5月8日(金)〔当日消印有効〕

【申請書受付先・お問い合わせ先】
秋田県中小企業団体中央会　秋田県地域事務局(☎018－874－9443)
〒010－0923　秋田市旭北錦町1－47　秋田県商工会館6階

事業区分	補助率	限度額	備　考
革新的サービス	補助対象経費の3分の2	一般型　1,000万円	※設備投資が必要
		コンパクト型　700万円	※設備投資は不可
ものづくり技術		1,000万円	※設備投資が必要
共同設備投資		5,000万円 (500万円/社)	(「機械装置費」及び事業管理者の「直接人件費」以外の経費は、補助対象外)

○対象要件：認定支援機関に事業計画の実効性等が確認された中小企業・小規模事業者であり、以下の要件のいずれかを満たす者

(1)ものづくり技術：中小ものづくり高度化法に基づく「特定ものづくり基盤技術」を活用していること

(2)革新的サービス：革新的なサービスの提供等を行い、3～5年計画で「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成する計画であること

(3)共同した設備投資等による事業革新：複数の企業が共同で設備投資を行い、事業者全体で「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成する計画であること

TOPICS 2 本会支援事業より ～課題解決に取り組む組合・企業を支援します～

トピックス ● SPECIAL FEATURES ●

本会では、平成26年度も本会活動ビジョンの基本理念である「強い組合・強い企業づくり」の推進のため、会員組合、組合員企業のニーズに即した事業に取り組み、それぞれが抱える課題の解決について支援しました。

本号では、その中から平成27年度も継続実施を予定している4事業についてご紹介致します。

事業実施をお考えの方や、事業内容を詳しく知りたい方は、本会までお気軽にお問い合わせ下さい。

ブランドチャレンジモデル事業 【平成27年度継続】

自社商品やサービス、企業イメージ等を効果的にPRするため、自社ブランドの構築や販路拡大に向けた支援を行います。

＜平成26年度実施例＞

○大同衣料株式会社

縫製業を営む同社が展開する紳士服ブランド「RISSI JAPAN」及び企業ブランド力強化に向けた戦略の構築に取り組みました。

今後は、ブランド専用ホームページや付属ツールの活用等により自社製品の売上増加に繋げ、下請け依存体質からの脱却を目指します。

組合連携コーディネート事業 【平成27年度継続】

組合や組合員企業の連携による新製品・サービスの差別化やコスト削減等、企業競争力強化につながる持続的な事業構築に向けた支援を行います。

＜平成26年度実施例＞

○協同組合秋田市民市場

秋田市民市場から排出される生ゴミで作られた堆肥を、本会会員等の農産物生産者が連携者となって活用し、その生産物を市場内で販売する循環型事業の構築を図りました。

研究会の様子(㈱秋田市民市場)

今後は、栽培方法や使用量等について検討を重ねながら試験栽培を行い、循環型農産物ブランドの構築を目指します。